



# 卒業生インタビュー

## # 04

何気ない生活が  
一番印象に残っています。

*my story*

令和6年度  
教育実習生

石川 恵介

令和3年3月卒業



**Q** 簡単な自己紹介をお願いします。

---

**A** 中央学院大学法学部法学科に在籍しています。

法学部に所属しながら、ゼミナールでは日本や世界の世界遺産から各国とのつながりや影響について研究しています。趣味は、ディズニーリゾートに遊びに行くこと、椎名林檎とaikoの曲を聞くことです。

**Q** 教育実習を終えての感想は？

---

**A** あっという間に終わってしまった。

先生方の授業見学や自分の授業を通し、先生方の生徒への想いを感じることができました。また、生徒の皆さんの授業や行事に真剣に向き合う姿勢や、普段の笑顔など、大学の講義では学べないことを学ぶことができました。ありがとうございました。

**Q** 生徒の印象は在学中と比べてどうでしたか？

---

**A** 真面目で落ち着きのある生徒が多くなった。

在籍していた頃は、活発な生徒が多かった印象ですが、現在は、真面目で落ち着きのある生徒が多くなった印象を受けました。また、授業では積極的に問題について考え、わからないことがあれば周りの友達と一緒に考えるなど、お互いに協力し合う姿勢が多く見られることに驚きました。

## Q 実習中に印象に残ったことは？

### A 生徒の努力を肌で感じ熱い気持ちに。

特に、印象に残ったことは体育祭です。

体育祭に向けて練習をしてきた生徒の皆さんの努力を肌で感じることができ、熱い気持ちになりました。特にクラス対抗リレーでは、私がホームルームを担当した1年1組が1位でゴールしたものの、反則があり最下位になってしまいました。1年1組の皆さんが悔し涙を流しているところを見て、私自身も悔し涙を流しました。

生徒の皆さんから、泣けるくらいに本気で取り組む姿勢や、ひとつのことを最後までやり切る大切さを学びました。



**Q** 足立東高校ではどんな生徒でしたか？

---

**A** 相当目立ちたがり屋だった（笑）。

クラスでは、友達とはしゃいで担任をしていただいた武居先生や米澤先生、川尻先生からよく注意されていたような生徒でした。

**Q** 足立東高校に入学した理由は？

---

**A** 中学校3年生の時の担任から。

中学生の頃は、学校になじめないこともありましたが、担任の先生から「こんな高校もあるよ」とすすめられたからです。

**Q** 足立東高校で印象に残っていることは？

---

**A** 何気ない生活が一番印象に残っています。

中学生の頃はあまり友達が多い方ではなかったので、日々の学校生活の中で一緒に部活をしたり、勉強したり、学校帰りに遊んだりしたことが、最も思い出に残っています。

**Q** 大学に進学することになったきっかけは？

---

**A** 小学生の頃から教員になることが目標だったから。

生徒会を担当してくださった小林先生から「石川くんなら、絶対できるから頑張ってみな」と背中を押してもらったことが、大学進学を目指そうと思ったきっかけです。

**Q** 進学に向けてどのような準備をしましたか？

---

**A** 先生方の助けを大いに借りました。

面接練習を先生方にしていただいたり、小論文試験があったのでテーマについて調べる作業や実際に論文を書く練習をしました。



**Q** 足立東高校で学んだことは？

---

**A** 当たり前なことが何より大切。

「時間を守る」「人の話をよく聞く」など基本的なことが日常生活を送る上で大切だということです。大学生になった今でも、授業開始前には準備をして待つなど余裕をもって生活するという部分に生かされています。

**Q** 足立東高校の魅力を教えてください。

---

**A** どんな境遇の生徒でも温かく迎えてくれる。

勉強に不安がある生徒、対人関係で悩んでいる生徒などに対して、お互いの境遇を理解し、歩み寄ってくれる先生や生徒が多いことだと思います。

**Q** 最後に未来の足立東生にメッセージを。

---

**A** 高校三年間はあっという間に終わってしまう。

時には自分自身のことを悲観してしまうこともあるかもしれませんが、高校三年間はあっという間に終わってしまいます。この三年間で、スローガンにある「本気」で取り組めることを探して、充実した高校生活を送ってください。

